



「Good morning!!」 日も明るい声が通学路に響きます

日光市交通指導員

わたなべ

渡辺 タニヤ さん (アメリカ出身・猪倉在住)

児童生徒の登校時の安全を守るため、毎朝通学路の交差点などで指導を行う交通指導員。
今回は、日光市の交通指導員で、アメリカ出身の渡辺タニヤさんにお話を伺いました。

来日した経緯は？

アメリカのカリフォルニア州で生まれましたが、母親が日系人で、家に日本人形や箸があるなど、日本文化になじみのある環境で育ちました。そのため、自然と日本に興味を持ち、大学時に半年間留学をし、大学卒業後に再度来日し宣教師として盛岡市に住むことになりました。

なぜ日光市に？

友人の紹介で日本人の夫と出会い、結婚しました。その後、夫の転勤で宇都宮市に引っ越してきましたが、自然が豊かな猪倉の土地が気に入り、夫の転職を機に、こちらに住むことになりました。

交通指導員になつたきっかけは？

約20年前、小学6年の娘の登校に付いて行った際、横断歩道で

待つ児童に気付いても止まらない車が多く、とても危険だと感じました。それから、毎朝ボランティアでその場所に立ち、登校時の見守り活動を約9年続けました。
その後、周囲の推薦もあり、日光市交通指導員を委嘱され、現在10年目になります。

業務内容は？

平日の朝1時間、猪倉小学校近くの新しい街道からの入り口交差点での交通指導を主に行っています。
児童が歩行者用押ボタンを押して、信号が青色に変わってから、きちんと左右確認をして無事に横断歩道を渡りきるまでを声掛けをしながら見守ります。運転手へアイコンタクトをとり、気を配ることも大切です。

交通指導員のやりがい？

私に向いている仕事だと思っています!! 朝から元気な私が笑顔で迎えることで児童に気持ちよく学校に行ってほしいと思っています。
また、あえて英語を使うこともあります。

「You can push the button. (ボタンを押してね)」と伝えたり、「What day is it today? (今日は何曜日?)」と聞いたりすると、英語で返事してくれる児童もいますね。児童が大きくなって「あの外国の人が毎日いたな」と思い出してもらえたらうれしいな、と思います。

今後の目標は？

70歳になるまで交通指導員を続けたいです。



笑顔がすてきなタニヤさん

今後、スクールガードにも参加し、下校時の児童の安全も守れればと考えています。
また、現在市外の保育園で英語を教えているので、今後も続けていきたいです。

日光は好きですか？

自然を感じられるところがいいです。奥日光や中禅寺湖などはお気に入りの場所です。また、夫が温泉好きなので、鬼怒川温泉や川治温泉などにもよく行きます。

娘と息子はアメリカに移住してしまいましたが、私と夫はずっと大好きな日光に住む予定です。

インタビューを終えて

大きな声で元気よくテキパキと行う交通指導の姿、日本での生活を穏やかに語る姿、そのどちらの姿もすてきでした。海外から来日し生活することには大きな苦労があったかと思いますが、交通指導を通して地域に貢献し、日光の生活を楽しむ様子里に、私も明るい気持ちになりました。

市は、2月10日(水)まで交通指導員を募集しています。詳しくは生活安全課(☎21-5151)へ電話または、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ QR コード▶

